

コンピューターウイルス対策

1. コンピューターウイルスとは？

コンピューターウイルス(以下ウイルス)は、その名の通りコンピューター用に人間によって設計、作成された不正プログラム的一种です。感染するとコンピューターが動かなくなったりファイルが壊れたり、いろいろな障害がでるほか、知らないうちに他人にウイルスをばらまき迷惑をかけてしまうこともあります。

■ウイルスの主な種類

種類	特徴
ファイル感染型	拡張子 COM、EXE、SYS などのプログラムファイルに感染するウイルスです。EXE や COM 等のプログラムファイルに付着して制御を奪い、プログラムを書き換えて感染増殖します。
マクロ(VB スクリプト)型	Office 製品 (Word、Excel、PowerPoint、Access) のマクロ機能を利用して感染を広げるタイプのウイルスです。
トロイの木馬	有益なソフトウェアと偽ってユーザーを信じこませ、実行させます。他のファイルに寄生しません。
ワーム	自己増殖して感染するため、他のファイルに寄生しません。メールなどを介して広まります。

■主な症状の例

- ・コンピューターが起動しない。
- ・見覚えのないアイコンがある。
- ・勝手にインターネットに接続しようとする。
- ・ファイルが削除されたり、内容が書き換えられている etc・・・。

また、最近ではウイルス以外にも下記のような不正プログラム・不正行為が増加しています。

種類	特徴
スパイウェア	利用者が意識しない間にコンピューターに侵入し、個人情報やインターネットのアクセス履歴などを特定の場所に勝手に送信する不正プログラムです。
ランサムウェア	コンピューターをロックしたり、ファイルを暗号化したりすることによって使用不能にし、元に戻すことと引き換えに「身代金」を要求する不正プログラムです。
偽セキュリティソフト	セキュリティの不安を煽る手口で金銭を騙し取るオンライン詐欺行為です。
フィッシング詐欺	特定のサイトに誘導し、ID やパスワード、クレジットカード番号などを盗み取る行為です。

2. どのように感染するの？

USB メモリ、メールの添付ファイル、プログラムのダウンロード、Web サイトの閲覧などにより感染します。

最近では正規の Web サイトが不正侵入を受けてウイルスが仕込まれてしまうケースも急増しています。

3. 感染しないようにするには？

■下記の点に注意

- ・USB メモリの貸し借りは行わない。
- ・知らない人から届いたメールは開封せずに削除する。
- ・心当たりのない添付ファイルは開かない。
- ・怪しい Web サイトを閲覧したり、プログラムをダウンロードしたりしない。
- ・ファイル共有ソフト (Winny、Share 等) を利用しない。

■ウイルス対策ソフトをインストールする

ウイルス対策ソフトとは、ウイルスやスパイウェアを発見し、駆除するためのソフトです。コンピューターを購入したらウイルス対策ソフトも購入してインストールするようにしましょう。また、ウイルス定義ファイルを常に最新の状態に更新しておく必要があります。

主な製品名	Web サイト
ウイルスバスター	https://www.trendmicro.com/ja_jp/forHome.html
ノートン	https://jp.norton.com/
マカフィー	https://www.mcafee.com/ja-jp/index.html
ウイルスセキュリティ	http://www.sourcenext.com/product/security/
ESET Smart Security	http://www.eset-smart-security.jp/

※紹介したソフトは有償ですが、無償のウイルス対策ソフトもあります。

Windows に標準搭載されている「Windows Defender」でも最低限の安全性は確保できます。

4. 大学でウイルスに感染したら？

本大学ではウイルス対策ソフトにウイルスバスターを使用しています。大学内のコンピューター使用中にウイルス感染を告げる画面が表示されたら、すぐに情報メディアデスクのスタッフまでお知らせください。

USB メモリにウイルスが感染している場合、他のコンピューターにも感染している可能性があります。自宅でも忘れずにウイルススキャンを行ってください。

5. 自宅でウイルスに感染したら？

ウイルスに感染した可能性がある場合は、ウイルス対策ソフトでスキャンを行ってください。